

特別会計

〔港湾事業特別会計〕

問 調査設計委託料は、三原港周辺整備について、何を調査し、設計するのか、また、今後の予定は。

答 港湾ビルと内港東駐車場はいずれも老朽化が進み、施設の再整備が必要な段階に入っており、区分所有者の間で解体を視野に入れた協議検討が行われている。この度の業務委託によって、平成30年3月に策定した「市中心部のランドデザイン」の考え方を念頭に、



港湾ビル

区分所有者の意向を踏まえて、内港の再生に向けた基本的な整備方針を定めて行きたい。

また、今後の方向性について、広島県をはじめとした区分所有者と協議を重ね、基本的な方針がまとまり次第、適宜公表し、その方針に沿った内港の再生に取り組んで行きたい。

〔後期高齢者医療特別会計〕

問 後期高齢者に対する人間ドックの費用助成は、広島県後期高齢者医療広域連合の補助対象事業であり、県内11の市町が健診事業として行っている。本市においても助成の対象とするべきではないか。

答 後期高齢者はがんの罹患率が高くなることから、がん検診に重点を置いた健診事業を実施している。また、後期高齢者は疾病等により、定期的な検査を受けている事例が多く、人間ドックを受けた場合、検査項目が重複することも考えられる。

このような背景から本市では、ほとんどの検査項目を無料で受けることができる体制を整えており、基本健診と本人が希望するがん検診を組み合わせた方法で健診事業を推進している。

討論・採決

反対討論

豪雨災害の復旧・復興に向けて精力的に取り組んでいるが、従来からの大型公共施設の建設に伴う支出が膨大であり、民意が反映された予算編成ではない。

賛成討論

少子高齢化や中心市街地活性化など、本市を取り巻く課題解決に向けた積極的な予算編成がなされている。

【採決】

議第1号、議第7号、議第22号は賛成多数、残り37件については全員一致で可決した。

補正予算の概要

主なものは、小・中学校の教室に空調設備整備事業の前倒し実施のため14億6087万8000円、「ギガスクール構想」に基づく校内ネットワーク整備と児童・生徒一人に1台の学習者用情報端末配備のため12億850万円を増額するもの等です。

補正予算特別委員会（質疑の抜粋）

クラウドファンディング活用支援事業

問 クラウドファンディング活用支援事業は、当初予算から全額を減額する補正になっているが、補助金の交付に結びつかなかった現状を、どう捉えているのか。

答 市民団体から、資金調達にクラウドファンディングを活用したい、という申し出を受け、調整してきたが、地元町内会や関係者との協議及び事業計画の策定、本事業を活用するための申請などに時間を要したことから、今年度の補助金交付につながらなかった。

問 事業の実施にあたっては、資金面の調達や事業の採算性確保などが課題であったと考えられるが、それらの課題に対し

て、行政としてどのようなフォローをしたのか。

答 中小企業診断士による「リノベーション実践塾」を開催し、魅力的な店舗づくりや採算性を確保する方法などを協議したが、具体的な事業の実現には至っていない。今後は、クラウドファンディングを活用できる対象エリア拡大の検討や、既存の補助と併せた支援で、多くの起業や活動が生まれていくよう、取り組んでいきたい。

ギガスクール構想

問 小・中学校の教室に空調設備を整備する事業に加え、国の「ギガスクール構想」に基づく校内ネットワークの整備と、学習者用情報端末の購入が全国的に予定され

ており、それぞれの運用開始が遅れてしまうことはないのか。

答 令和2年度の事業を前倒しして実施することで、2年度の夏休み明けまでには工事を完了させたいと考えている。また、校内ネットワークの整備と情報端末の購入については、空調整備に続いて、順次、整備に取り掛かるとともに、国が示すロードマップに沿ったスケジュール管理に努めたい。

【採決】

議第40号ほか11議案については、全員一致で原案通り可決した。